

航友会だより

発行／中日本航空専門学校航友会事務局

〒501-3924 岐阜県関市迫間字吉田洞1577-5 中日本航空専門学校内 ☎(0575)24-2521 FAX(0575)22-9816



平成16年度代議員会報告	…1
航空整備科	…2
航空電子制御科	…2
航空生産科	…3
エアサポートサービス科	…3
同窓会開催のお知らせ	…4
ホームページのご案内	…4
編集後記	…4

平成16年度代議員会報告

平成16年5月22日（土）に、愛知県犬山市の「犬山国際観光センター」に

おいて、平成16年度の定例代議員会が開催され、24名中17名の代議員及び幹事が出席し、それぞれの議題について活発な討議や意見の交換が行われ、会議は慎重に進められました。

B会での航友会活動の近況報告を行わされました。

沖縄支部は、新体制での活動状況について報告し、また関西地区グループ航友会は、関西支部設立にあたり、活発な活動内容を報告しました。

●平成15年度 事業報告

事業報告では、沖縄支部及びグループ航友会（関西地区）、ラグビー部O

●平成16年度 事業計画

①関西地区グループ航友会

仮支部として承認され、益々の関西地区同窓会として活発な活動が計画されています。

②同窓会開催

平成16年11月13日（土）に名古屋空港内の国際線特別室にて開催する事が決定されました。（同窓会開催の詳細については、後述の記事を参照して下さい。）

③航友会横断幕について

○その他

①名古屋支部設立
名古屋支部設立を段階的に進めていくこととし、各企業においてKEYMANとなるOBを早期に選定し、今後の名古屋支部設立に対し、協力を依頼することになりました。

航友会では、中日本航空専門学校の各部活動が、大会に出場する際に応援する為に横断幕（大きさ・横4.5m×縦1m）を作製しました。

今後、横断幕は事務局において保管し、各部活動の要請に応じて貸し出されます。



航空整備科



開設35年目を迎えるました。昭和45年
に開設された航空整備科は、8年の年
月を経た後、運輸大臣指定航空従事者
養成施設（三等航空整備士・飛行機）
を指定、その10年後の昭和63年ヘリコ
プターも同指定を取得。現在では国土
交通大臣航空従事者養成施設二等航空
整備士（飛行機50名・ヘリコプター40
名）及び二等航空運航整備士（飛行機
30名・ヘリコプター15名）の4コース
の認可を受け、平成16年3月末現在、
1918名のライセンサーが巣立つて
います。

教材機は飛行機11機（ビーチクラフ

H S型5機、アエロスパシアル式A S
355 F 1型1機）と、時代の移り変

わりと共に徐々に機数も増えました。
よって機体を格納及び整備作業するた
めの第2整備実習棟や航空機燃料給油

施設の建設なども必要となり徐々に拡
張されました。

また航空整備科は32期入学生から3
年課程となり、より充実した教育と時
代が求める航空整備士を輩出すべく、
第5代校長、浅野敏美校長以下40名の
教師陣が一丸となって指導に努めてお
ります。



全国の専門学校で初となる、大型機
ボーイング777タイプフライトシミ
ュレータが、平成16年7月末に航空電
子制御科に導入されました。

電子科ではこれまでにも、小型機の
計器訓練用フライトシミュレータを使
用し、アビオニクス教育を行つてきま
したが、今回B777フライトシミュ
レータが導入され、本格的なシステム
による大型機のアビオニクス技術教育
が可能となりました。教育効果として

Sやオートパイロットの学習、航空機
の飛行状態での計器の動き、各システ
ムの相互間の働き等、整備訓練用シミ
ュレータとして、アビオニクス整備技
術者育成を目標に運用します。

又、本システムは汎用のパソコン7
台で稼動しており、ユーベルのス
キルで、自由にI/O（出入力関係）
変更が可能となります。これにより電
子科の制御系教育も行う事が可能であ
り、システムの拡張は自由自在となり
ます。

この様に、非常にリアリティの高い
システムを兼ね備え、ほぼ実機同様の
理想的な実践教育が展開されます。

航空電子制御科

B777フライトシミュレータ導入



航空生産科



1986年に航空技術科として開設されて以来、十八年経過し現在では学科長を中心として航空機や航空機部品等の設計・製造・検査に関する専門知識・技術を総合的に教育しています。本科では実務経験豊富な教官により、実践的に教えており大きな教育成果をあげています。公的資格取得においてもAuto CADオペレーター技能認定試験は95%以上の合格率を維持しています。これは学生の習熟度に応じた教え方と試験直前の集中的な補完教育を徹底した成果であるといえます。また生産現場でのリーダーの証である生産士の資格取得は98%以上、非破壊検査技術者技能認定試験も積極的に受験し、現在では全国レベルの合格率までに達しています。その他の資格についても学生自身に目標設定させ積極的に資格取得に向けてチャレンジさせています。また本科の特色である実践教育として二人乗の軽飛行機「RV-4」の2号機の製作も順調で艤装作業に取り掛かっています。この様に実機を学生自身の手で組立・生産する実習授業は実際の企業における現場と同じ慎重な作業が要求されます。作業の失敗も教官が的確に指導し、ものづくりの喜びを体験させながら創造力を育てて学生の自信につなげていきたいと考えています。近々、三次元設計用最新教材を導入する予定です。



中日本航空専門学校の4つ目の学科として1999年にスタートしたのが、エアポートサービス科です。この学科では、グランドハンドリング業務とエアカーゴ業務について総合的に教育を行っています。



空港内で使用されるGSEも多数揃え、現在ではハイリフトローダー4台・トラクター17台・フォークリフト2台・その他コンテナドリーリー・パレットドリーリー・ヘリドリーリー・トaineグダミー・コンテナ各種等々の教育機材により、実践的な教育を行っています。また本科の特色である実践教育として二人乗の軽飛行機「RV-4」の2号機の製作も順調で艤装作業に取り掛かっています。この様に実機を学生自身の手で組立・生産する実習授業は実際の企業における現場と同じ慎重な作業が要求されます。作業の失敗も教官が的確に指導し、ものづくりの喜びを体験させながら創造力を育てて学生の自信につなげたいと考

えております。

更に上を目指し、通関士の免許にもチャレンジしてますが、現役で取得したのは2名のみです。(エアポートサービス科OBの中には就職後に取得した者が数名います。)



2年前には、学校下に専用の実習場が完成し、各種車両の走行実習・牽引実習、ハイリフト・ローダー2台を向かい合わせにしてコンテナやパレット貨物の搬送実習も行い、更には学生諸君が一番苦手とするブッシュバッく・トーバックの実習等も行っています。

エアポートサービス科

同窓会開催の お知らせ

☆会費

2,000円／1人

2005年中部新空港開港に併い、現名古屋空港に勤務する会員が新空港へ移動すると思われます。

そこで、空港移転前に名古屋空港において、同窓会を開催することになりました。

会員の皆様が多数参加して頂けますようお待ちしております。

なお、会場にお越しの際には、公共交通機関をご利用下さいますようお願い申しあげます。

前14号でお知らせいたしました、同窓会のホームページは、本校同窓会が名簿の管理を委託している株廣済堂が提供しているものです。

今回、新たに航友会独自のホームページを開設することとなりましたのでお知らせいたします。

当ホームページは、9月オーブンを目指して、現在工事中です。(当号発行日には、アドレスは不明ですが、中日本航空専門学校のホームページ

ホームページの ご案内

編集後記

航友会だより 第15号はいかがでしたでしょうか。

今回は、本校の4学科について、簡単ではありますが、現在の状況を説明させていただきました。

航友会ホームページも完成し、会員の皆様との“つながり”がまたひとつ増えました。

今後しばらくはホームページと航友会だよりの2本立となりますが、ゆくゆくはホームページの充実をはかり、航友会だよりの使命をホームページにたくしたいと思います。

☆時間

午後5時～7時(2時間)

☆会場

名古屋空港内 国際線ビル

☆形式

立食パーティ&催物



今後は、当ホームページを利用して会員の皆様に情報を提供し、また会員の皆様からの情報を受け付けさせていただく予定です。

<http://www.jinno.ac.jp/cna/>

からリンクさせますので、会員の皆様のご利用をお待ちしております。

